



PMP試験アドバイス(私見)

Kenshi Nishimura, PE, PMP



目次:

- はじめに
- 総括 ~ 試験を振り返って ~
- 参考書について
- 参考書と使用方法
- PMBOOKについて(特記)
- Rita本について(特記)



はじめに

- PMP受験対策は、受験者のPM経験度により、異なってくると思われます。
- 本資料のアドバイスは、PM経験の少ない方向けの内容となっているかもしれません。あらかじめ、ご了承ください。



総括

～ 試験を振り返って～

- 想定以上に難しいかも？ 心して！
- 日本語訳に難あり。基本的には、英語モードで回答を進めていくべき。(日本語モードは、参考程度に！)
- 困難な問題は、暫定回答し、後で考える。(時間を掛けない)
- 計算問題で、正答率を上げる。



参考書について

以下の4冊のみを使用した。

- 鬼金テキスト: 鬼金関西2003年度版
- PMBOOK(英語版): PMI 2000年度版
- Q and As for the Pmbok Guide 2000 Edition
- Rita本: Pmp Exam Prep – Rita Mulcahy著
Rmc Pubns Inc ; ISBN: 0971164738 ; 4th Bk&Cdr 版

少数の参考書で徹底的に学習する。

参考書と使用方法

テキスト名	学習方法	評価
鬼金テキスト	・講義内容を思い出しながら、全資料を復習(1回)	
PMBOOK (英語版)	・通読(1回)	
	・5つのプロセス群相関図と各プロセスへの “input”“tools&techniques”“output”を抜粋したノート を作成し、暗記用ノートとして使用(覚えるまで複数回)	
Q & Aブック	・演習(3回) 間違った箇所は、PMBOOKで確認	
Rita本	・通読(1回)。 ・章末演習(3回)。 間違った箇所は、Rita本とPMBOOKの両方で確認。	



PMBOKについて(特記)

- 5つのプロセスの相関図を覚える。
- 各プロセスに含まれるコアおよび補助プロセスの内容を覚える。
- 39のプロジェクト・プロセスに関して、インプット、ツール&テクニックおよびアウトプットを覚える。



Rita本について(特記)

- 演習を中心に、内容を理解していくこと。
(本の内容は、平易で理解し易い。)
- EV、Risk Score、Opportunity cost等、計算により回答できる問題には、精通しておくこと。
- 本文中で、ポイントと強調してある箇所は、特に十分に理解すること。

以上、ご静聴ありがとうございました。